

京都文教大学
総合社会学部総合社会学科
スポーツ・健康コース

スポーツのチカラで
Well-being をかなえる



スポーツ・健康コースの学び

— 進路の方向性 —

スポーツ産業、行政など幅広い業界で活躍！

スポーツ関連企業

スポーツメーカーの商品開発担当や営業担当、商品をPRし販売促進を行うマーケティング担当など部署によって担当する仕事もさまざま。コロナ禍を経て、スポーツ業界はAIやIT市場の成長によってスポーツテック企業が急増中！

つくる



支える



地方公務員 NGO・NPO 団体職員

スポーツ振興担当や市民の健康増進担当、市民体育館やプール、グラウンドなどの施設管理担当など、行政職でもスポーツ関連分野は多い。スポーツツーリズムなど観光分野でも注目されている。

スポーツインストラクター スポーツトレーナー

スポーツジムやフィットネスクラブで運動をする人の健康管理、安全管理などをサポートする。体づくりについてのカウンセリング、マシンの使い方の説明、プログラムの作成・指導などをアドバイスする。

スポーツメディア

スポーツ新聞/雑誌の記者や編集者から、スポーツSNSのライターやサイト運営の仕事も増加している。eスポーツの広がりを受けて、ゲーム開発やアプリ開発なども。

広める



スポーツイベント プロデューサー

スポーツイベントや大会の企画・プロモーション・開催運営などを行う仕事。マーケティング戦略や広報活動の実施、スポンサーシップの獲得のほか、当日の運営も行う。イベント企画会社やプロスポーツチームに所属。



Check 目指せる資格・活かせる免許

- 中学校教諭一種免許状(社会)
- 高等学校教諭一種免許状(公民)
- NSCA-CPT<NSCA 認定資格パーソナルトレーナー>
- 社会調査士、社会福祉主事任用資格
- 初級地域公共政策士
- レクリエーションインストラクター

コースコア	授業形態	1年	2年	3年・4年
専門基礎	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ・健康と Well-being ● スポーツ・健康科学のデータサイエンス 	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ・健康測定評価演習 	<p>4年間を通して、 基盤科目・他コース科目と 組み合わせて学べる</p> <p><基盤科目(例)></p> <ul style="list-style-type: none"> ● 社会科学論 ● 地域入門 ● 数理・データサイエンス基礎 ● データ分析入門 <p><他コース専門科目(例)></p> <ul style="list-style-type: none"> ● SDGsと環境 ● NPO論 ● 福祉と地域デザイン ● マーケティング基礎
専門基幹	講義・演習	<ul style="list-style-type: none"> ● レジャーと社会学 ● メディアとスポーツビジネス ● スポーツ・健康栄養学 	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツマーケティング論 ● スポーツツーリズム論 ● トレーニング科学論 	
	実技・実習	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツビジネス実践 		
専門展開	講義・演習	<p>理論と実習を組み合わせた 授業形態で、 「役立つ」「活かせる」 スポーツの実践力が身につく。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● スポーツ心理学 ● スポーツと法 ● イベントプロデュース論 ● レクリエーション・スポーツ指導論 ● スポーツと地域 	
	実技・実習			<ul style="list-style-type: none"> ● アダプテッドスポーツ演習 ● 地域スポーツフィールド実習
実習・表現・発信系科目	実技・実習		<ul style="list-style-type: none"> ● コンディショニング実習 ● レクリエーション・スポーツ実技 ● スポーツイベント企画実習 	

Sports and
Health
Course



スポーツに自分らしくかわりながら、
地域社会に暮らすすべての人々に希望を与え、日々の生活を豊かにする。
人を、街を動かす、スポーツを仲間とともに学び、
社会で活躍したいという、あなたのための4年間です。

スポーツの新しい価値を創造する

スポーツ × サイエンスの学び



LOOK
マナエ、トレーニング、ビジネスなど、スポーツにかかわる専門知識と技能の両方を学べる。



Pick Up 授業

「トレーニング科学論」

パフォーマンス向上を目的とした欧米のトレーニング科学やプロサッカーチームのトレーニングマネジメントなどについて事例研究を通して学ぶ。生物と環境や生物同士の相互作用を考える「生態学的アプローチ」が注目されるトレーニングだが、実際は、生態学的要素が複雑に絡み合う状態の中でアスリートはパフォーマンスを発揮している。現場を前提としたスポーツの計測・評価のアプローチについて学ぶ。

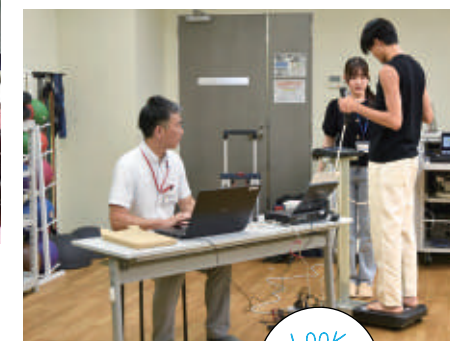
AIやデータを活用したパフォーマンスの分析・向上など、スポーツへのデータ活用の「今」を学び、適切な測定方法によって、パフォーマンスと健康状態を把握・評価するスキルを身につけます。



Pick Up 授業

「スポーツ・健康測定評価演習」

体力テストやフィットネステストなど、パフォーマンスや健康状態を把握するために、適切な測定方法を選択し、結果を評価するスキルを身につける。ボディーメイク（健康管理）には、食事・運動・睡眠が複合的に関わっていることを知る。体組成を測定し、自分の身体を詳しく知ることが、生活習慣病の予防や改善、健康的なウェイトコントロールなど、健康管理において重要であることを知る。



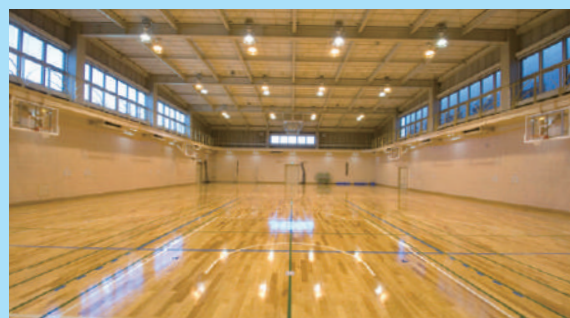
LOOK
「数理・データサイエンス基礎」「データ分析入門」など、組み合わせることで学ぶことができる。

Pick Up! 関連施設・設備



トレーニングルーム

無料で使用できるトレーニングルームには、スポーツトレーナーが常駐で指導してくれるから初心者も安心です。



体育館

2つの体育館は冷暖房完備で、ロッカーやシャワーなども設置。スポーツ交流イベントの実施にも活用しています。



運動生理学実験室

身体機能や運動パフォーマンスを測定する機器を設置。データと理論を照らし合わせながら学ぶことができます。



リズムレッスン室

電動で出し入れできるステージや大型スクリーンを設置。



Pick Up 授業
「スポーツビジネス実践」

スポーツを構成する3要素「みる」「する」「ささえる」を直接的、間接的に「体験・経験すること」に転換し、サービスを展開するスポーツビジネス。その本質を実践的に学ぶ。社会におけるスポーツの価値を見出し、ビジネスとしてのスポーツの可能性を発見する力を身につけ、スポーツ創造の力を養う。

LOOK 1年次から、企画運営を実務家教員から学び、実践する科目



スポーツの新しい価値を創造する 地域連携 × 実践のフィールド

1年次から地域の多彩な現場で実践経験を積むことができるから、キャリア形成につながる企業との出会いも豊富です。

みんなが楽しめるスポーツ「ウォーキングフットボール」のイベントを学生たちが企画・運営

子どもも高齢者も、障がいを持つ人もそうでない人も、スポーツが得意な人もそうでない人もみんなが楽しめるウォーキングフットボールを京都文教学園は推進しています。「スポーツの力でWell-beingをかなえる」スポーツビジネス実践の授業では、学生がイベントを企画・運営しました。企業や地元のウォーキングフットボールチームも参加し、スポーツを通じた多世代交流が実現しました。



京都府宇治市との連携で地域の健康課題解決に挑戦

プロジェクト科目「KBU 熱中症対策本部クラス」

自治体(宇治市消防本部)や企業(大塚製薬株式会社)と協力して効率的な熱中症予防の対策を考え、宇治市の熱中症を減少するための啓発活動を考案。地域やイベントでの熱中症予防の啓発のための企画・実践を行いました。

「熱中症への対策を！宇治市標語コンテスト2025」開催

熱中症対策の一環として本学と宇治市、大塚製薬株式会社が共催でコンテストを開催しました。

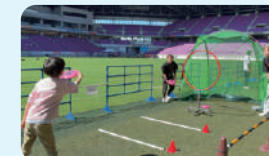


さらなる連携強化に注目



フライングディスクのまち宇治を発信！

「ワールドマスターズゲームズ2027関西」では、宇治市でフライングディスク「アルティメット」が実施されます。本学も「フライングディスクのまち宇治」の一員として、スポーツやレクリエーションイベントへの協力を通じ、地域を盛り上げます。



誰もが親しめるフライングディスク。その普及に向けた取り組みを学生らが発信する。(写真は他会場での様子)

● 京都府との連携で実践の場が拡大！

「京都キッズスポーツフェスタ」に参加しました！

本学は2025年度から「京都スポーツ医・科学サポートコンソーシアム」に参画しました。このコンソーシアムは、京都府内でスポーツ医・科学をもっと身近に感じ、競技力向上から健康増進までスポーツ医・科学の知見を還元できる体制を目指しています。活動の一環で9月末にサンガスタジアム by KYOCERA で開催された京都キッズスポーツフェスタにも参加しており、当該イベントでは本学の学生も運営スタッフとして参加しました。

CF of

スポーツ・健康コース Sports and Health Course

Student's Voice

栄養・健康、地域連携・・・ スポーツをいかせる キャリアを探していきたい

高校時代はボート部に打ち込んでいました。これまで打ち込んできたスポーツにかかわる進路を考えたくて、「大学生活とキャリア」を受講しました。地域連携学生プロジェクトなど、現場実践の経験をつみながら、自分らしい進路を探したいと思います。



スポーツ・健康コース
1年生
大橋 実和 さん
滋賀県立大津高校出身

大橋さんの1年春学期の時間割

	月	火	水	木	金
1限 9:00 - 10:30		英語コミュニケーションⅠ			アカデミック スキル基礎
2限 10:40 - 12:10				食と健康	英語 リーディングⅠ
3限 13:00 - 14:30	スポーツ・健康と Well-being	総合社会学 入門	初年次演習	健康科学	スポーツ ビジネス実践
4限 14:40 - 16:10			卒業後の自身のキャリアを視野 に入れつつ、大学生活をどのよう に過ごすかを具体的に考える。		大学生活と キャリア
5限 16:20 - 17:50		大学入門			

【オンデマンド】 ●仏教入門 ●数理・データサイエンス基礎

スポーツに打ち込んだ経験をいかせる 進路を目指して、 幅広い分野の知識を得たい

高校時代はハンドボールに打ち込んでいました。スポーツの経験をいかせる進路を検討しています。幅広い知識を得たいので、健康、栄養、観光、メディア、心理学など、さまざまな分野の科目を受講するようにしています。



スポーツ・健康コース
1年生
石村 翔太 さん
京都両洋高校出身

石村さんの1年秋学期の時間割

	月	火	水	木	金
1限 9:00 - 10:30		英語コミュニケーションⅡ			
2限 10:40 - 12:10	メディア リテラシー		データ分析 入門		英語 リーディングⅡ
3限 13:00 - 14:30		レジャーと 社会学	総合社会学 基礎演習		
4限 14:40 - 16:10		スポーツ・ 健康科学の データサイエンス			グループ活動を基本として、 情報収集、ディベート、プレ ゼン資料の作成、発表や フィールドワークの方法を 学ぶ。
5限 16:20 - 17:50		フィールド 調査法	臨床心理学と キャリア構築		

【オンデマンド】 ●数理・データサイエンス演習 ●健康科学 ●スポーツ・健康栄養学
●メディアとスポーツビジネス ●地域入門

Teacher's Message



久米 雅 先生

- 研究分野
- 運動生理学
 - 温熱生理学
 - スポーツ科学
 - 動作解析

地域連携の大学
ならではの実践的な
学びの機会が
充実しています！

地域とのつながりを活かした幅広い年齢を対象としたスポーツイベントを一緒に作り上げたり、地域の高齢者を対象に健康増進のための運動教室を行うなど、たくさんの実践の場を用意しています。「スポーツ・健康」の知識や技能を学んで、スポーツ・健康に自分らしくかかわりたい方をお待ちしています。



山下 篤央 先生

- 研究分野
- スポーツ医学
 - アスレチックトレーニング
 - トレーニング科学
 - スポーツ指導

スポーツ経験がなくても
大丈夫！
スポーツを多角的に学び、
活躍する人へ。

スポーツの魅力は選手として活躍することだけではありません。オリンピックをみて感動した経験がある方も多いのではないのでしょうか。本コースでは、スポーツを「する」「みる」「ささえる」など、多角的な観点で学ぶことができます。スポーツ・健康の学びを通じて、自分自身を見つめ、興味のあることを追求してみませんか？